

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区
スローガン

ロータリーはステージ・
みんなが輝く！

高田ロータリークラブ
会長方針

ロータリーに共に参加し、
共に学び、共に楽しもう



2024-2025年度

国際ロータリー会長

ステファニーA.アーチック

第2560地区ガバナー

南雲博文

高田ロータリークラブ会長

飯塚宏佳

幹事

細野仁

広報・会報・雑誌委員会：

箕輪賢一 倉田 亮 阿曾 晋

第 30 回例会 4 月 18 日(金)

No.30

会長挨拶

●飯塚 宏佳



こんにちは。観桜会の期間は終わりましたが水曜日までライトアップと出店が出ていたので、私も月曜日に夜桜を観に出ました。まだまだ見頃で花見客もそれなりにいましたし、丁度いい込み具合で楽しめました。

やはりインバウンドの方々も多く、観光の力や魅力というものは育てて大事にしていかなければならないと思われました。お祭り、美しい木々や花々、日本の原風景や雄大な自然。そして長く歴史を刻んだ建築物などそういったものを見て、触れて、感動する。そのために我々日本人も国内・海外問わず観光地に行き時にスケールに圧倒され、時に繊細な工作に心を捕まれます。それと同じように多くの外国からの観光客の方々もその美しさや深みを感じ、日本という国の文化を楽しみにやってくるのではないのでしょうか。もちろん新しく出来た場所にも行きはしますが、やはり多くの場合歴史のあるもの、時の流れが育んだものに人は魅了され、感動するのだと思います。日本には古くから残る神社やお寺、お城を始め多くの歴史的建造物があります。白川郷や五箇山のような民族の生活を感じる場所も存在します。

ただし日本は石の文化ではなく木の文化です。歴史的建造物の大半は木で作られています。皆さんもお寺や神社の大改修などご覧になったことがあると思いますが、そのように時に手入れし、修復し、また火事などで失われた時には復元するなどして、古の時代より長い年月・歴史を重ね今に残って我々に当時の面影を伝えてくれています。

歴史的文化財や美術品の修復には非常に高度な技術が要求されますが、海外では時折失敗例がでてきます。スペインの教会での元の形とは全く異なる修復や、中国の万里の長城をコンクリートで塗り固めてしまうなどとてもない修復があります。さすがに日本ではそういった話を聞くことはありません。素人が手を出さない専門分野として確立しているからだと思われれます。本日京都南 RC からメーキャップに来ている木澤君は私の予備校時代からの友人で、宮大工、社寺建築(株)木澤工務店の代表です。先代の頃も清水寺や桂離宮の修復をされていましたが、今でも毎年のように延暦寺や平等院などなど国宝や重要文化財の保存修復に携わっています。興味のある方は本人から直接話を聞いていただければと思います。

そういった専門技術の確立と承継が、日本の文化財・歴史的建造物を支え、我々の目を楽しませ心を豊かにしました最初に行ったように大事な観光資源となっているのでしょう。

本日の会員卓話は、こちら上越の歴史と観光に欠かすことは出来ないところです。(株)岩の原葡萄園 代表取締役社長 高岡成介さんから前回入会されたばかりで早速ですがお話をいただきます。皆様ご清聴よろしくお願いします。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

大谷光夫君・飯塚宏佳君・細野 仁君・高橋正彦君・遠藤 巖君・本山秀樹君・霜村 浩君・羽深耕時君・山田 守君・原野聖子君・西山要耕君・福田 聖君・

林 泰成君・嶺村 武君・土田竜吾君・箕輪賢一君・高橋孫左衛門君・宮下啓三君・石倉 悟君・渡邊茂雄君：4/12 越後春日山 RC 創立 30 周年式典
飯塚宏佳君・細野 仁君・遠藤 巖君・本山秀樹君・大島 誠君・箕輪賢一君・山崎公一君・西山要耕君・渡邊茂雄君・阿曾 晋君・土田竜吾君：4/12 衛星クラブ清掃活動

セ レ モ ニ ー



入会式：
小師智彦君
(株)NST 新潟総合テレビ
上越支社長

お客様紹介・スピーチ



木澤喜之君（京都南 RC）

ニコニコ BOX 紹介

木澤喜之君（京都南 RC）：メーキャップに寄せていただきました。よろしくお願いいたします。
梅津真揮夫君：4月4日入会いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

橋詰敏一君：ロータリー財団 4 クラブ合同企画「利他一善」プロジェクトの実施が昨日の「花の苗」贈呈で終了いたしました。関係いただいた皆様に感謝いたします。

笠尾 崇君：4/12 に実施した「高田城址公園早朝清掃活動」には多くの方々にご参加いただき誠にありがとうございました。高田 RC11 名、衛星クラブ・家族 6 名、合計 17 名で清掃活動を行いました。皆様のご協力のおかげで観桜会場の美化に努めることが出来、地域の観光に貢献したことを感謝申し上げます。これからも皆様からのご理解ご支援を賜ることをお願い申し上げます。重ねて御礼とさせていただきます。ありがとうございました。

委員会報告

ロータリー財団委員会：地区補助金活動報告、寄付のお願い

会員インフォメーション

齋藤尚明君：4/27 諏訪大社と御柱祭講演会のお知らせ

幹事報告

配布物：週報No.28・29、ロータリーの友 4 月号、4/27 諏訪大社と御柱祭講演会チラシ

会員卓話：

ビールとワインのものづくりについて

株式会社岩の原葡萄園 高岡成介君



「ビールとワインのものづくりに共通した高岡視点での技術革新の条件とは」というテーマで卓話を実施した。

私は 1988 年にサントリーに入社以来、ビールの技術開発、商品開発、ビール工場での醸造技師、醸造責任者、工場責任者としての経験、2021 年からは特に日本ワインを主としてワイン生産を担当、25 年 4 月に岩の原葡萄園に赴任した経験をもとに、①発泡酒（新ジャンル）の開発のキーポイント、②「ザ・プレミアム・モルツ」の品質のキーポイント、③ワイン造りの難しさとは？④なぜ川上善兵衛は「日本ワインぶどうの父」といわれるのか？ということを実例として話した。

特に④では、もし川上善兵衛が雨の少ない山梨で生まれていれば、マスカット・ベリー A 等の善兵衛品種は生み出されていなかったのではないかと、なぜなら上越は雨が多く、また冬は雪深くぶどう栽培には厳しい環境であり、海外のぶどうを育てることは難しかった。そのために日本の気候に適したぶどう品種を開発する必要があると、結果として善兵衛は 22 品種もの日本の気候に適したぶどう品種を開発できたと考える。この 4 つの事例から、結論として、技術的な制限の下で技術革新が生まれるという仮説に至った。

最後に善兵衛が上越に生まれてくれたからこそ、美味しい和食に合う岩の原ワインを飲めることに感謝！



バナー交換：京都南 RC 木澤様



越後春日山 RC 創立 30 周年式典に参加 4 月 12 日(土)